

【市長と語るまちづくり懇談会】

この懇談会は、地域の課題を地区民と行政が共有して、方向性について懇談する機会として、市内20地区で今年も開催されています。

※ 飯田市内には、20のまちづくり組織があります

先日開催された、【川路地区市長と語るまちづくり懇談会】の様子を報告します。

と き：9月8日（金）19：00～21：00

場 所：川路公民館 大会議室

参加者：飯田市 佐藤健市長 教育次長 産業経済部長 建設部長 市民協働環境部長

川路まちづくり委員会役員 川路地区民 川路自治振興センター職員 合計：46人

発表者：

- | | | |
|-------------------------|------------------------|---------------|
| 1) 中島 良彦 会長 | 2) 七区長：牧内 穰さん | 3) 七区：永田 永治さん |
| 4) 天龍峡温泉観光協会会長：牧内 健さん | 5) 三区長：牧内 恒良さん | |
| 6) 川路保育園保護者会副会長：北澤 香澄さん | 7) 川路保育園保護者会副会長：塚原 究さん | |
| 8) 川路保育園保護者会会長：吉地 貴裕さん | 9) 川路公民館館長：江口 正浩さん | |

内 容：

【サブタイトル】

川路地区第二次基本構想「みんなで支える豊かな川路」
を目指す基盤づくり

【今年度のテーマ】

- ①天龍峡観光の今後の整備方針について
- ②若い世代の移住促進策、子供の減少を食い止めるための方策について
- ③幼児向けの公園遊具の整備について
- ④川路公民館駐車場の増設について



佐藤市長からの回答

はじめに、中島良彦会長から『川路まちづくり委員会の活動について』発表がされました。つづいて、各テーマの発表が行われ、それぞれ飯田市からご回答をいただきました。



川路まちづくり委員会の活動説明

** 主な発表と回答 **

・天龍峡観光については、サイン計画は令和6年で終わりますが、その後の計画有・無について

➡今のところ計画はありませんが、今後については一緒に考えましょう。



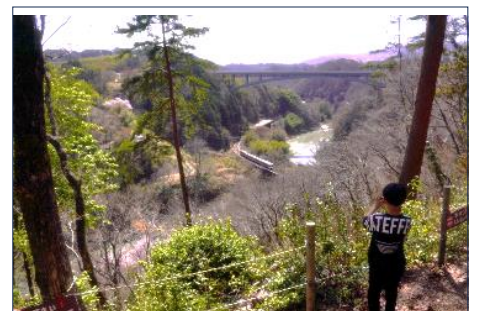
サインって？
天龍峡来訪者への情報発信及び誘導案内看板

・龍角峯近くの遊歩道崩落の修復を今秋までに希望します。

➡今秋は間に合いません。今年の冬になりそうです。

・お藤山遊歩道から「天龍峡大橋」が良く見える「ビューポイント」があるので、ウッドデッキの建設は可能でしょうか？

➡国定公園は国の管理なので市の対応はできないが、機会をみて国に要望してみます。



お藤山遊歩道のビューポイント

- ・天龍峡では、各種イベントの実行及びイベント以外の平日にも天龍峡を人でねやねやにする、を合言葉に活動している地元若者の会「ねやねや天龍峡」があります。今年4年振りに再開した「天龍峡をどり」でも緑色のTシャツを着た若者たちが活躍しました。
- ・観光客が「そらさんぼ」→「天龍峡」まで足を延ばすために、天龍峡へ大手宿泊施設の誘致をしたくお力添えをお願いします。
- ・長野県が「空飛ぶクルマ」の実証実験をしようとしているので天龍峡で手を挙げてみたい。そして、リニア飯田駅⇔天龍峡で天竜川に沿って川の上空を飛行するコースを提案したい。
→飛行制限がある中、川沿いや山の上空を飛行する案は実現可能性が高いので、県に提案したい。

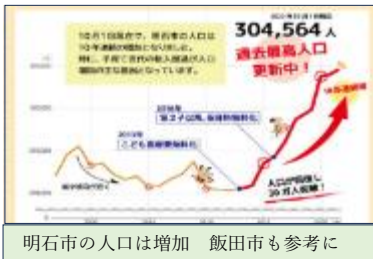
- ・川路も少子化の課題があります。若い世代が川路へ住み易くするために、市営住宅の建設を希望します。
→市では、市営アパートの新規計画はありません。増えている空き屋をいかに活用してもらうかを考えたい。



天龍峡 PA イベント広場に遊具設置を

- ・三遠南信道路利用の家族連れドライバーと地元の子育て家族のために、天龍峡パーキングイベント広場の芝生スペースを開放し、遊具の設置やドッグランができるよう希望します。
→国の管理なので、機会をみて地元の要望として国へ伝えたい。

- ・相生広場、川路駅前広場に遊具設置を希望、既設の遊具は木製で劣化が進んでいます。
→木製の遊具は更新時期が来たら樹脂製の遊具に変更も可能です。大榎公園に60万円の補助金で遊具を設置した実績があります。



- ・兵庫県明石市の子育て支援は、移住促進、若い世代の経費負担軽減となっているので参考にしてもらいたい。ウェブサイトは子育て世代の目線で作られていて見やすいです。
→市では来年度に向け少し踏み込んだ支援策を検討中。現在、市ウェブサイトの見直しをしようとしているので参考にします。

- ・川路まちづくり委員会は、10年前から内科医、小児科医の誘致に力を入れていますが実現できておらず、不便を感じています。市長のアドバイスをお願いします。
→非常に難しい話。医者を目指す人への県の奨学金では9年間は県内で働くようになっている。そのような人を南信州地域に呼べるよう県にお願いしています。



飯田市に川路公民館の駐車場を増設検討依頼

- ・川路公民館では、慢性的な駐車場不足であることから、具体的な場所を提示して駐車場の増設が可能か検討をお願いします。
→飯田市公民館に相談してください。

【川路出身 牧内博幸さん】情報誌で語る

牧内博幸さん（川路八区出身）は、今年第71回天龍峡夏期大学で【世界の飯田・川路タウンになれるか（飯田・川路の観光資源を考えよう）】と題して講演をされました。



三遠南信 Biz 9月10日発行

今回、南信州新聞社の月刊誌『三遠南信 Biz』9月号に、当地域の観光の可能性について、牧内さんへの取材記事が3ページにわたり掲載されました。（「三遠南信 Biz」は、南信州新聞社にて400円で販売中）
外務省に勤務した41年間のうち、8ヶ国で31年間を過ごした経験。その中で、**欧州国境地帯の3ヶ国（イタリア、スイス、オーストリア）と三遠南信（遠州、東三河、南信州）は、同じ山間部で似ており『観光資源』を考えるうえで参考になるのでは**とされています。